

目黒労協

2025春闘闘争ニュース

No.25-05 2025年4月1日

発行:目黒地区労働組合協議会/教宣部

【HP】<http://meguro-rokyo.jp/>

メール:union@r05.itscom.net



25春闘、すべての仲間の賃上げを 目黒でもストライキに立ち上がる！

東京医療センター労組 ストライキ支援行動

2月28日(金)早朝の全医労東京医療センター労組ストライキ支援行動。医療関係だけでなく、全教や全労連女性部など全国単産からも応援が。また東京地評・JMITU東京地本などの旗も。目黒からは労協・土建目黒支部、目黒自交労組などが旗をもって参加しました。約50名が参加した集会では、ストライキを前に病院側は「経営難・病院維持困難」主張の文書を出してきたと抗議、また長野からはるばる厚労省交渉を兼ねて参加した仲間から「寒冷地手当廃止に反対している」など、医療・介護労働者の「賃下げ」状況の報告もありました。(目黒労協/事務局)



第2波ストライキでも応援

3月13日(木)の早朝、前日の団交で「ゼロ回答」が前進しなかったため、全日本国立医療労働組合は、全国47都道府県でストライキの実施に立ち上がりました。目黒でも2月28日(金)に続き、この日も東京医療センター支部での指名ストが実施され、産別や関係の組合から40人が支援に駆け付けました。全医労の交渉している労働条件は、実は2024年度のもので、私たちからすれば1年遅れの賃金交渉なのです。それがベースアップゼロ回答だけでなく、寒冷地手当や地域手当の改悪などで、実質賃下げも提案されているとのこと。目黒労協として引き続き医療センター支部を、地域で支援していくことをスト集会で訴えました。(目黒労協/事務局次長)



目黒労協春闘宣伝 in 中目黒

3月11日(火)の夕方、目黒労協#3春闘宣伝。小雨交じりの天気でしたが、中目黒駅にて9人の参加で実施しました。

(目黒労協/事務局)





南部春闘共同行動 in 大井町

3月13日(木)は、25春闘統一行動日。東京南部では、夕方に大井町駅前で、南部共同の統一宣伝行動。「お米は2倍・キャベツは500円、春闘で大幅賃上げを」と声を掛けながら、ティッシュ配布。各区の労協・区労連から交代でマイクを握り訴えました。午後7時までの1時間半、40名を超える組合員が参加しました。(目黒労協/事務局)

25春闘 金属労働者のつどいに参加しました

3月1日(土)13時ぴったりに始まり、目黒地域支部の参加者は6名、長老の組合員も参加。春とはいえ急に気温が上がって暑いくらい。当日は10時から六本木交差点で宣伝していたが、こちらは支部不参加で。青山墓地の隣の青山公園で集会、南部地協ではゲートボールならぬ「get-ball」ゲームを開催、支部組合員が成功しました(デコボコの地面で難しい)。

集会は参加者500名、家族で参加や20才台の若い人もいて、メーデーのような感じでした。3kmのデモ行進はJMITU三菱自動車支部も加えて、14時40分にデモ行進に出発。支部組合員は全員、解散地点まで完歩できました。デモ終了後ですが、山手線が運行停止、バスを探しに明治通りへ戻ったりして帰るのに大変でした。参加のみなさまお疲れ様でした。(JMITU目黒支部/通信員)



25春闘勝利総決起集会、日比谷野音ろ千人参加で満員

3月6日(木)、「25国民春闘勝利! 3・6中央総決起集会」が日比谷野外音楽堂で開催。3000人参加とのことで満員。全労協、全港湾・国会議員から連帯挨拶。主催社から「すべての」労働者の賃上げ: 初任給のみならず、中高年・非正規などへの賃上げ波及がポイントと。最賃時給1500円を、企業内・産業別での実現を図ろうと報告。決意表明は、福祉保育労神奈川、全労連全国一般、自治労連、東京土建(建設アクション)、全国食健連(新婦人)から。東京地評議長による団結ガンバローの後、11隊列を組んで国会請願デモに向かいました。この集会に土建目黒支部は、23人の組合員で参加しました。(目黒労協/事務局)



非正規社員の均等待遇と

正社員化を求める郵政本社前集会

3月5日(水)大手町、日本郵政本社前。25春闘勝利、郵政の全国共同集会。挨拶は、全労連秋山議長、全労協渡辺議長。大椿参議院議員。そして、近畿からは過労死家族会の方々が、雪のためこられなくなった報告。長崎からは、最低賃金審議会で郵政は地方最賃+20円と賃金規定。春闘要求には答ええない、と最賃アップを訴えた=本来郵政が賃上げすべきと発言。東海からは、自ら13年目に正規試験に合格したが、13年分の格差は埋まらない。5年で全非正規16万人を正規化せよ、と16万人以上の非正規労働者を抱える郵政本社に、シュプレヒコール!(めぐろユニオン/通信員)



地域での共同の取り組み

3.13 重税反対全国統一行動 目黒集会

3月13日(木)の中目黒舟入場公園で、「3.13 重税反対全国統一行動：目黒集会」が開催され、30名を超える参加者が集まりました。この「統一行動」は1970年に始まり、当初は自営業者の集団申告行動が中心でしたが、労働者も含む各階層の幅広い団体が参加し、国民が主権者として国に国民本位の税制と税務行政を確立することを求めていく、文字通りの全国民の「重税反対の日」となっています。目黒労協も開催実行委員会の構成団体であり、春闘での地域共同行動として位置付けています。当日は労協議長も参加し、「消費税の引き下げなどめざし一緒に頑張ろう」とあいさつしました。(目黒労協/事務局次長)



医療崩壊をくい止めよう！

2月27日(木)「医療崩壊を食い止める」目黒段階宣伝行動が、学芸大学駅前にて約1時間行われ、16名の組合員が参加しました。先に行われた「教育アクション」同様、労協・目黒社保協・区労連にて、地域共同の行動として取り組まれました。安全・安心の医療・介護がいつでも、だれでも、どこでも受けられるために、医療・介護現場の実態を世論に訴え、国民的課題として取り組もうとの、東京地評の呼びかけに応え、実施しました。(目黒労協/事務局)



改憲 NO！ 宣伝行動 in 祐天寺

3月6日(木)の夕方、「改憲NO!めぐろの会」による宣伝行動が、祐天寺駅前にて6人で行われ、労協よりも参加しました。1・2月の宣伝はお休みし、今年初めての行動となりました。「平和憲法を守ろう」とティッシュを配布。日が暮れると寒くなりましたが、用意したティッシュがなくなり約40分で終了しました。(目黒労協/事務局)



平和と社会保障を守る区民パレードに参加して

労協ニュース3月号で報告した「めぐろ区民集会2025」で、参加者より感想が寄せられましたので、みなさまにもご紹介いたします。

2月22日(土)午後1時30分からの集会である。JMITUは19日に春闘要求を提出した。講演は藤原のかさん「介護の実態と介護保険の問題点」だ。高齢化している自分はこちらで少し混乱した。春闘と社会保障の対比だからである。しかし次第に藤原のかさんの話に引き込まれていった。直接的な批判ではなく、やんわりと包み込むような話し方での批判である。話しの終盤に、訪問介護の基本報酬を引き下げたことを不服として、いま最高裁でたたかっていると訴えた。すごいなあ～、との思いを抱くと同時に、孤独死とか認知症に重きを置いて気に懸けている自分を律した。(JMITU 目黒地域支部/通信員)

